

令和6年7月25日（木）
令和6年度 第1回総合教育会議

佐伯市の表現教育の取組について

佐伯市教育委員会学校教育課

表現教育の必要性

～市内小・中学校の課題から～

令和6年度佐伯市学力向上プランから

○説明する力・表現する力の低迷

- ・題意を的確につかみ、必要な情報を取り出して、論理的に考えて説明したり、自分の考えをまとめたりする学習活動が必要である。

令和6年度佐伯市生徒指導・支援プランから

○自己肯定感の低下

- ・「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、R3から全国・大分県の割合を下回っており、自己肯定感を高める取組の充実が必要である。



**コミュニケーション力と人間性を育成する
表現教育の推進**

コミュニケーション力と人間性を育成する表現教育

取組Ⅰ

演劇的手法を取り入れたコミュニケーション能力・非認知能力の育成

○演劇的手法を取り入れた授業に係る講演やワークショップ等をとおして、市内小・中学生のコミュニケーション能力・非認知能力の育成を目指す。

令和6年度は講演会、研修会の実施。令和7年度以降は実施モデル校を指定し、管内学校へ成果を広げていく。

コミュニケーション力と人間性を育成する表現教育

＜演劇的手法とは＞

ロールプレイ、シミュレーション、台詞に対して役割を決めて演じるアフレコなど様々な形態の中で、何かの役になりきってふるまうことを通して学習を行う手法のこと。

＜演劇ワークショップとは＞

複数の他者が関わり、互いの個性や意見の違いを尊重しながら、一人一人が異なる役割を担って、ひとつのものを創り上げる活動のこと。

コミュニケーション力と人間性を育成する表現教育

豊岡市立日高小学校視察：演劇的手法を取り入れた授業「転校生がやってきた」（3時間）

授業概要（第1時）

用意された劇をより面白い劇にするために、台詞を書き換えたり、付け加えたりしながら台本を見直し、劇を発表する。



①概要説明



③練習

・劇を発表するためにグループで練習



②グループ協議

・配役決め、台本の修正・追記作業



④発表

コミュニケーション力と人間性を育成する表現教育

授業概要（第2・3時）

第1時に使用した台本の空欄となっている2つの場面について、どのような場面にすればよいのか前後の場面との繋がりを考えながら、適切な台詞を創作し、グループで劇を演じる。



①説明

- ・1時との違い



②グループ協議

- ・場面展開を考える
- ・適切な台詞の創作



③練習

- ・立ち位置、動きの確認



④発表

- ・各グループの劇を見合う



⑤ふりかえり

- ・創作活動について
- ・グループ協議について



⑥講評

コミュニケーション力と人間性を育成する表現教育

演劇的手法を取り入れた授業実践、その要素を各教科の授業へいかすことによって

①他者認識、自己認識力の向上

創作的な活動の中で、協働で話し合いながら正解のない課題に取り組む中で、ふだんは見ることのない他者の一面を見いだして、相手を理解しようとしたり尊重しようとしたりして相互の関係が良好になっていく。劇を創作する活動を通して、相互の違いを認めて理解し合うことや受け入れることの重要性に気づいていく。

②「伝える力」の向上

演劇等の創作活動に参加することで、言葉による表現に加え、身体表現等を用いて相互に伝え合うことの喜びに気づき、様々な表現手法を用いて、他者の立場や考えを尊重しながら相互伝達を図ろうとする意欲が高まる。

③自己肯定感の育成

正解のない課題に取り組む過程の中で、通常の学校生活では教員が見いだしにくい子どもの面（良い面、優れた面）が演劇的手法により引き出され、それをお互いに認め合うことによって、自己肯定感が育まれる。

参考：子どもたちのコミュニケーション能力を育むために ～「話し合う・創る・表現する」ワークショップへの取組
平成23年8月29日 コミュニケーション教育推進会議 審議経過報告（文部科学省）

コミュニケーション力・人間性（自己肯定感・自己有用感等）の育成

コミュニケーション力と人間性を育成する表現教育

(1) 演劇的手法を取り入れたコミュニケーション教育に係る講演会(オンライン)

期日 令和6年10月22日(火) 15:00~16:30

演題 「演劇的手法を取り入れたコミュニケーション教育について」

講師 芸術文化観光専門職大学 学長 平田オリザ氏

参加者 各小・中学校長 学校支援センター長

(2) 演劇的手法を取り入れたコミュニケーション教育に係る研修会

期日 令和6年12月13日(金) 9:30~16:00

会場 蒲江翔南学園

内容 演劇的手法を取り入れた公開授業(6年生)
事後研究会および講義

講師 芸術文化観光専門職大学 学長 平田オリザ氏

参加者 各小・中学校教職員

取組2

音楽鑑賞や音楽演奏等をととした コミュニケーション能力・人間力の育成

○音楽鑑賞や音楽演奏等の中で本物に出会い、本物に触れ、互いに協力する体験活動を行うことをとおして、他者を理解し、ともに支え合おうとするコミュニケーション能力・人間力を育成する。

令和5年度は、宇目緑豊中学校で実施し、生徒37名が参加した。

令和6年度は、鶴見中学校で実施する。

コミュニケーション力と人間性を育成する表現教育

＜宇目緑豊中学校＞



コミュニケーション力と人間性を育成する表現教育

＜宇目緑豊中学校＞



感想

- ・声の出し方や歌うタイミングなど、わからないことを丁寧に教えてくださったおかげで堂々と歌うことができました。
- ・初めての貴重な体験ができたし、第九を聞いてくれた人や教えてくれた人たちがとても喜んでいたのがうれしかったです。

コミュニケーション力と人間性を育成する表現教育

＜鶴見中学校＞



コミュニケーション力と人間性を育成する表現教育

(1) 音楽鑑賞や音楽演奏等(鶴見中学校)

6月 学校での公演鑑賞

6月～11月 学校での指導(5回を予定)

12月 学校での共演公演

(2) 「SAIKI第九プロジェクト」への参加

RENTARO室内オーケストラ九州による演奏、声楽家、
市民合唱団との合唱

期日 令和6年11月16日(土)

会場 さいき城山桜ホール 大ホール

参加者 鶴見中学校生徒